

この会報は、共同募金の配分を受けて発行されています。 令和4年末日 発行

やまびこ No.267

発行 公益社団法人 埼玉県手をつなぐ育成会
 〒330-0062 埼玉県浦和区仲町2丁目14-6 ハウス第五仲町101
 TEL 048-833-0444 FAX 048-833-0400
 E-mail:saitama@teotunagu.jp
 ホームページ http://www.teotunagu.jp/

定価50円 (購読料は 会費に含む)

理事長 高野 淑恵

第57回 埼玉県手をつなぐ育成会県大会



「県大会を終えて」

理事 高野 淑恵

実行委員長 桜井 直美

コロナウイルスが蔓延してから3年間、県大会を延期してきましたが、漸く久喜市栗橋で県大会を開催することができました。ずっと待ち続けていた「埼玉みんなの会」の皆さんの晴れやかな笑顔を見ることができて、とても嬉しく思いました。もちろん、会員の皆さまとも3年ぶりに会うことができ、顔を合わせるといことが、こんなにも心弾むことなだと改めて思うことができました。

今大会は、埼玉県手をつなぐ育成会70周年記念でもありました。

70年後の今は、70年前には予測さえできなかったほど福祉施策が進められてきました。しかしながら量的にはともかく質的には満たされていないと言えませんが、絶えない虐待・絶えない差別、私たちはまだまだ歩みを止めることはできません。

県大会はそんな私たち自身にエールを送り、歩むべき方向に光を当ててくれるのです。毎年行っているときは、隔年でも良いのでは？と言う声もありましたが、やはり、集うことの大切さを感じ、感じさせてくれる県大会となりました。

大切なバトンを渡してくださった村山顧問や参加の皆さまにもお会いできて、直に感謝を伝えることができて嬉しく思いました。

末尾になりましたが、3年越しで頑張ってきた栗橋育成会の皆さま、お疲れさまでした。そして、遠く栗橋まで来てくださった来賓の皆さまはじめ関係者の皆さま、本当にありがとうございました。

2019年1月から準備を進めてまいりましたが、2度も延期となり、開催できる日を待ちわびる日々。でも、そんな時間を過ごしたからこそ、県大会で皆さんの笑顔を拝見でき、喜びもひとしおになったと思います。

70周年記念の大会にもなりましたが、残念ながら、60周年の時のような華々しい催し、規模は難しく、コロナ感染も心配しながらの大会に。でも、皆さんのご協力のおかげで、一を+に転化できました。まず、入り口での検温、2つの会館の消毒も重ねながら、来訪された方々の安心・安全を願う気持ちの一つに、「母のうた」：斉唱の代わりに、70周年の歩みをお宝写真で振り返りました。「昼食」：黙食をお願いした分、お弁当を堪能していただきました。

記念コンサート、記念講演では、もしもの時に備えて、事前収録も実施。同席した私達は、この感動を多くの方に伝えたいと県大会本番の日をより心待ちにすることができ、当日も拍手喝采だった矢作理恵氏、明利美登里氏、松本哲氏には、ただただ感謝しかありません。

そして、「小さな会館でのおもてなし」：会場中が本人達の光り輝くアートで彩られ、皆さんに温かさや元気を届け、会場のやり繰りに頭を悩ませましたが、進行に合わせて会場の模様替えを機敏に行ってくれたスタッフの方々のお陰で、滞りなく終了できました。

ご来賓、参加、ご参加の皆様には、激励の言葉、たくさんありがとうございました。そして、3年以上、共に知恵を出し合い力を貸してくださった久喜市福祉課、県育成会の三役・事務局・東部ブロック、栗橋育成会の皆さんに心より感謝申し上げます。

本人のつどい 「話し合い」に参加して

久喜市栗橋手をつなぐ育成会 友田 尚吾

「コロナ禍の中で、どう楽しめるか」がテーマでした。リモートで飲み会をしたいという意見が出ました。僕は、お酒は苦手ですが、ジュース等を飲みながらなら、リラックスして話せそうだと思います。実現したら、参加したいです。

それから、ボーリング大会の話もありました。以前みたいに行いたいけれど、クラスターが発生したら怖いし：今は厳しいかな：色々な意見が出ました。僕は、コロナが落ち着いたらやってみたいと思いました。少し緊張しましたが、色々な話が聴けて、刺激も多く、参加して良かったと感じました。



久喜市栗橋手をつなぐ育成会主催 「アートのこ」展を終えて

「アートのこ」 東出 美知子

埼玉県手をつなぐ育成会県大会の会場をアートで飾りましょうと声をかけていただいたので、大変嬉しく思いました。

アートのこのこ展「ここにいろよ」「ここが好き！ここにいたい！ここにいてもいい？」がテーマでした。「アートのこのこ」は、ことばの音楽療法「ことり」とセットで行われています。前半の「ことり」で、子供達は達成感を味わい、後半はその心をもつて創作活動に移ります。牛乳パック、トイレットペーパーの芯、木片、段ボール等を利用して作っています。私は教えることは何もなくて、材料を用意すると子供達が想像もしていなかった物を作り出します。長い障子紙やクラフト紙に自由



に絵を描き、その上から刷毛で色を塗っていくこともあります。そんな時は、子供達のところが解放されて、ワクワクしているのがわかります。上手に描くこと作ることではなく、心の中にあるものを自由に表現してほしいと願いながら、一緒に作品作りを進めてきました。

そして、県大会の当日。ロビーから見上げると迫力のある長い障子紙のアートに包まれ、みんなのパワーや笑顔が浮かんできて胸いっぱいになりました。会場中の作品から、「ここにいろよ」と個性豊かな声が飛び交い、たくさんの方々にも届いたようです。多くの方々から嬉しいお言葉をいただき、大変励まされました。これからも、子供達に作品をどんな作ってほしいと思いました。

あしがき 県大会が三年ぶりに開催されました。前回の秩父開催では新人の職員で手探りで準備でした。薄れた記憶を頼りに、桜井会長と協力。充実した内容と進行で無事に終了しました。70周年誌も同時進行での作成もあって煩雑な日々でした。次の大会は川越にて開催です。早め早めの行動でまいります。

《広報部 渡邊》

未来あんしんサポート NEW 2022年1月、「定期支払金付プラン」が新登場 「つかえる楽しみ」と「こせる安心」をお届けします

【知的障がい】や【自閉症】等の障がいのあるお子さまのために 「親なきあと」をサポートするご提案です

「生命保険」と「信託」が「親御さまの想い」を 確実に未来へのこします

「未来あんしんサポート」は、(株)ジェイアイシーがご提案する生命保険と生命保険信託をあわせたサービスの総称です。

お問合せや資料のご請求はこちらへ 未来あんしんサポートに関するお問い合わせ ジェイアイシー生命保険信託相談ダイヤル 0120-580-503 通話料無料 受付時間：月～金(祝日・年末年始を除く)9:00～17:00

●未来あんしんサポートについて、詳細は「未来あんしんサポート リーフレット」をご覧ください。●株ジェイアイシーは「個人情報保護方針」と題するプライバシーポリシーを策定し、これに基づいて個人情報の取扱いを行っています。その内容は、株ジェイアイシーのホームページにてご確認ください。●当資料は、2022年1月1日時点のお取扱い内容に基づき作成しています。

株式会社ジェイアイシー 本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿3-2-11 新宿三井ビル2号館2F ホームページ www.jicgroup.co.jp

【所属信託会社】 みずほ信託銀行株式会社

【生命保険引受保険会社】 第一フロンティア生命保険株式会社

MAS-A-220103